

【13. 選択領域(6時間): 現代社会の諸課題Ⅲ(社会・国際関係・農学分野)】

講習内容	現代社会は、生産年齢人口の減少、グローバル化、人工知能、情報化、技術革新等々の言葉が日常の生活に溢れています。児童生徒には、こうした社会を生き抜くための資質能力が強く求められる今、教師として彼らに伝えておきたい様々な課題が考えられます。本講座では、「社会」「国際関係」「農学」分野に関する課題を取り上げ、基本的な理解を目指します。						
	講座番号	講義テーマ	内 容			受講対象	時間
		講座概要	到達目標	キーワード			
⑬-1	人口構造の変化における課題とその政策	戦後からの人口構造を「年少人口」「生産年齢人口」「高齢者人口」の年齢別3区分から変化とそこに発生した問題点と政策について考える。また、そうした変化を人口転換理論からも説明する。そして、人口構造や人口動態の変化が行政というマクロ単位の問題だけではなく、家族というミクロ単位の問題とも関係することについて考えてみる。	日本の人口構造や人口動態から現代における社会状況とそれに起因する問題を考え、政策が問題解決に十分なものであるかなどを考察し、社会の現状を人口学的に理解する能力を養う。	人口の年齢別3区分(年少人口、生産年齢人口、高齢者人口)、人口転換、合計特殊出生率、少子・高齢社会	中(社会) 高(地歴、 公民、商 業、情報)	3	安藤 喜代美
⑬-2	国際関係におけるグローバル化の諸問題—途上国の視点から—	グローバル化は国境を越えたヒト・モノ・カネの動きが地球規模で活発になることと定義されるが、果たして我われは、そうした動きをどこまで理解できているのか。ヒトの動きでは、海外からの旅行者の増加は歓迎されるかもしれないが、移民はどうであるか。ファストファッションを始め海外から安価で質のよい商品が購入できるが、商品の製造に児童労働が関わっていればどうであるか。世界の紛争激化の要因に安価な武器の流通がある、これも歓迎されるモノの動きなのか。	グローバル化とは、まさにグローバルな視点を身につけグローバルな課題と向き合うことであろう。しからば、そのような課題と向き合うためには多様な視点が求められるのであり、具体的な事例に基づきながらそうした視点を養い、グローバル化した世界を深く理解することを目的とする。	グローバル化、新自由主義、格差、移民、児童労働、紛争、アフリカ	中(社会) 高(地歴、 公民、商 業、情報)	1.5	加茂 省三
⑬-3	食の安全性について	近年、消費者の「食の安全」に対する注文が以前にも増して強くなっている。本講義では食品科学分野における「食の安全性」に関するいくつかの問題を探り、その課題と解決策について解説する。	食品の安全マネジメントシステムを理解する。また、その問題点や対応策について解説できるようにする。	遺伝子組み換え(GM)食品、食物アレルギー、機能性食品	中(社会) 高(地歴、 公民、商 業、情報)	3	湊 健一郎